



UNWTO
World Tourism Organization

ウォーキングツーリズム

地域振興の促進

要旨

ウォーキングツーリズム

地域振興の促進

要旨

謝辞

本レポートは、国連世界観光機関（UNWTO）観光市場情報・競争力部の部長の Sandra Carvão 氏監修の下、国連世界観光機関（UNWTO）事務局長スポーツ・観光専門アドバイザーの亀山秀一氏がとりまとめたものである。

UNWTOは、本レポートの発行にご尽力いただいた次の方々に対し、心から謝意を表したい。

- Georgia National Tourism Administration
- The Lebanon Mountain Trail Association
- The Kyushu Tourism Promotion Organization
- The European Association of the Vie Francigene
- ONSEN & Gastronomy Tourism Association
- The Foundation of the Sierra's Greenway
- Kaminoyama City, Japan
- Mr. Shigeru Toshima, Tourism Promotion Producer, Fukuoka Prefecture Tourist Association;
- Mr. Hiroshi Kimura, Project Professor, Hokkaido University Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies
- Ms. Kurumi Shimakawa, bachelor student of Wakayama University

序文

ウォーキングは、旅行の際に観光客が観光資源をより近くで楽しみ、活発に行動することのできる、最も一般的で人気のある移動手段の一つである。ウォーキングツーリズムによって、観光客は五感を通じ、地域をより身近にそして、より深く体験することができる。また、現地の人々や自然、文化との有意義なふれあひも促進される。

ウォーキングツーリズムは、その地域ならではの特徴あるルートがあれば、比較的少ない投資で開発することができる。ルート沿いに暮らす住民やその他の関係者がウォーキングツーリズムの開発にかかわることにより、地域コミュニティに様々な社会的・経済的恩恵をもたらす。また、これまで観光客があまり訪れていなかった場所や地域、そして閑散期にも観光の需要の分散化を促進する。

本レポートでは、ウォーキングツーリズムの様々な成功事例を紹介し、地域の発展におけるウォーキングツーリズムの役割に重点をおいた実践的な事例を提供することを目的としている。本レポートが、地域におけるウォーキングツーリズムに関する商品開発や、社会的・経済的な発展に重要となる観光の価値を最大限に活かすことにつながるものと確信している。

ズラブ・ポロリカシュヴィリ
国連世界観光機関（UNWTO）事務局長

要旨

ウォーキングツーリズムの利点

ウォーキングツーリズムは、現在、地域を体験する手段として、非常に高い人気を得ている。ウォーキングツーリズムによって、観光客は現地の人々や自然、文化とより多く触れ合えるようになる。また、体を動かす健康的な活動を求める最近の観光客のニーズにも合致している。ウォーキングツーリズムは比較的少ない投資で、持続可能な観光の形態として場所を問わずに開発することが可能である。適切に開発・管理が行われれば、住民と地域コミュニティに社会的・経済的恩恵をもたらす。また、ウォーキングは健康の維持と向上にもつながることから、観光客だけでなく住民にとっても魅力的であり、地域は、ウォーキングツーリズムを福祉政策の一環及び観光客と住民との交流促進の手段として考えることもできる。

ウォーキングツーリズムの利点として、次のような点が挙げられる。

- 比較的少ない投資で、容易に開発することができる
- 特別な資源を必要としない
- 市場のニーズが高い
- 他の観光資源に付加価値を与える
- 適切に開発・管理が行われれば、維持・継続が容易である
- 地域に経済的恩恵をもたらすことができる
- 住民の健康的な生活を促進させることができる

ウォーキングツーリズムを開発する上での考慮事項

どの地域であってもウォーキングツーリズムを開発することは可能であるが、地域はそれぞれの目的やターゲット層（散歩を楽しむレベルから本格的なハイカーレベルまで）に応じて、その可能性を検討していく必要がある。

実際の開発段階では、以下の要素が重要となる。

- ルートの特徴（魅力、安全性、難易度、アクセス）
- 必要な設備（標識、トイレ、ベンチ等）
- メンテナンスシステム
- 経済的な機会（宿泊施設、交通機関、小売店、文化事業、ガストロノミーツーリズムやワインツーリズムとの連携等）
- マーケティングや商業化

同時に、地域の発展を目的としたウォーキングツーリズムの開発と維持には、地域の関係者の協力や参加、支援が極めて重要となる。ウォーキングツーリズムは公共財を利用するため、住民と観光客の間で軋轢が生じるおそれがある。ルートの維持管理は、地域のボランティアと協力して行うことができる。新たなビジネスの機会を地域の起業家や住民が活用できるよう、研修への参加機会や資金調達手段が必要となる。

結論

あらゆる地域に、ウォーキングツーリズムを活用することができる可能性がある。ウォーキングツーリズムは地域独自の自然と文化を組み合わせることで、比較的少ない投資で開発することが可能である。雇用の創出やビジネスの機会をもたらすため、地域振興にも寄与する。ウォーキングツーリズムの開発を成功させ、地域に最大限の恩恵をもたらすためには、地域の関係者の協力と支援が極めて重要である。

地域において、その地域ならではの「体験」への需要と、運動を伴う観光の人気の高まることで、ウォーキングツーリズムは、地域と観光客の双方にとってより重要なものとなってきている。また、ウォーキングをする観光客は地域の文化と自然を楽しむと考えられることから、ウォーキングの枠を超え、地域全体を紹介するためのチャンスとなる。そのため、地域には、各地の観光発展のためにウォーキングツーリズムの価値を最大限活用していくことが期待される。

なぜウォーキングツーリズムなのか？

序論

ウォーキングツーリズムは常に、ウォーキングを好む観光客だけでなく、自然やその地域ならではの体験をすることに興味のある観光客からも人気がある。ウォーキングによって、旅行者はその地域の人々や自然、文化とより直接的に関わることができる。また、人気の理由として、旅行中も体を動かす健康的な行動を求める観光客のニーズや、休暇をアクティブに過ごす人の増加等が挙げられる。

ウォーキングツーリズムに強い地域となるには、あるいは、ウォーキングツーリズムに関する商品を十分に提供するためには、多くは必要ないが、一定レベルの投資と開発が必要である。必要な投資が限られている点が、ウォーキングツーリズムを開発することの利点の一つである¹。また、ウォーキングツーリズムは、環境への負荷が小さく、適切に開発・管理が行われれば²、より多くの観光客を誘致することや、観光客の滞在期間を延長すること、消費を促すことができる。さらに、地域における持続可能な観光商品として提供することが可能であり、雇用や収入の創出につながる。

ウォーキングツーリズムといっても、その内容は多岐にわたる。しかし、本レポートにおいては、地域振興のために比較的容易に開発できる、次の要素を有しているものを対象とする。

- 数時間から1週間程度の滞在であること
- 観光客に特別な技術や体力を必要としないこと
- 舗装されていない道路が中心であること

本レポートにおいては、ハイキングやトレッキングもウォーキングツーリズムとしている。

地域にとってのウォーキングツーリズムの利点

ウォーキングツーリズムは、スポーツツーリズムの一つの形態と考えることができる。スポーツツーリズムの他の形態と比べ、ウォーキングツーリズムは、地域を魅力的なものにするために必要となる投資がわずかで済む（特別な施設を建設する必要がない）³。ウォーキングのルートにかかる維持管理コストは、スポーツ施設に比べはるかに少ない⁴。さらに、スポーツイベントを開催できるだけの収容能力を備えた施設も必要としない。したがって、ウォーキングツーリズムは、地域が比較的容易に開発できる観光である。また、地域ならではの体験と組み合わせることもできる。それはつまり、すべてのウォーキングツーリズムに関する商品に独自のセールスポイントを打ち出すことができるということである。

1 Davies, N.J.; Lumsdon, L.M. and Weston, R. (2012), 'Developing Recreational Trails: Motivations for Recreational Walking', *Tourism Planning & Development*, volume 9 (1), pp. 77–88.

2 Palau, R. et al. (2012), 'An Analysis of Greenways from an Economic Perspective', *Tourism Planning & Development*, volume 1, pp. 15–24.

3 Davies, N.J.; Lumsdon, L.M. and Weston, R. (2012).

4 Palau, R. et al. (2012).

既に定評のある地域にとっても、ウォーキングツーリズムは観光客が訪れていなかった場所を探访してもらい、よりお金を費やしてもらい、より長く滞在してもらうための、新たな観光商品となる。また、季節的な観光客の変動を低減させることもできる⁵。観光の推進を目指す地域にとっては、観光客を惹きつけるための魅力となり得る。

ウォーキングツーリズムの恩恵は、観光振興にとどまらない。地域コミュニティに根差した観光商品として開発され、地域経済を支えることができるため、地域コミュニティの生活の質の向上にも貢献する⁶。適切に管理することができれば、自然や文化環境の保全に寄与し、観光客や住民の理解も高めることができる⁷。また、ウォーキングや運動をする習慣が促進され、体を動かさない生活スタイルが抑止・改善され、住民の肥満を減少させることができる⁸。

観光客にとってのウォーキングツーリズムの利点

ウォーキングツーリズムはアウトドア用の衣服以外に準備すべきものがほぼないため、観光客にとっても手軽に取り組める⁹。年齢、性別等に関係なく、大半の人が楽しむことができる¹⁰。提供されるサービスに応じて、観光客は、距離、難易度、ルート上の観光資源等の点から自分に合ったウォーキングのルートを選ぶことができる。ウォーキングツーリズムは、身体的・精神的健康を維持・改善し¹¹、自然環境とふれあう機会も与えてくれる¹²。

ウォーキングの恩恵は、ウォーキングにとりわけ興味を持っている観光客だけでなく、文化に関心の高い観光客にも恩恵が及ぶ。ウォーキングツーリズムにより、観光客は、文化遺産や景観、文化へのより深い理解が可能となる¹³。また、人々やその土地により深くかかわることもできるようになる¹⁴。ウォーキングは、各地の独自性を探訪し、体験するための最高の手段といえる¹⁵。

5 Palau, R. et al. (2012).

6 Davies, N.J.; Lumsdon, L.M. and Weston, R. (2012).

7 Ibid.

Palau, R. et al. (2012).

Weston, R. and Mota, J.C. (2012), 'Low Carbon Tourism Travel: Cycling, Walking and Trails', *Tourism Planning & Development*, volume 9 (1), pp. 1–3.

8 Palau, R. et al. (2012).

Omar, W.R.W.; Patterson, I. and Pegg, S. (2012), 'A Green Pathway for Future Tourism Success: Walking Trail in Kuala Lumpur', *Tourism Planning & Development*, volume 9 (1), pp. 57–76.

Mnguni, E.M. and Giampiccoli, A. (2017), 'Community-Based Tourism Development: A Hiking Trails Perspective', *African Journal of Hospitality, Tourism and Leisure*, volume 6 (1), pp. 1–17.

9 Davies, N.J.; Lumsdon, L.M. and Weston, R. (2012).

10 Ibid.

11 Ibid.

Omar, W.R.W.; Patterson, I. and Pegg, S. (2012).

12 Davies, N.J.; Lumsdon, L.M. and Weston, R. (2012).

13 Palau, R. et al. (2012).

Mnguni, E.M. and Giampiccoli, A. (2017).

14 Omar, W.R.W.; Patterson, I. and Pegg, S. (2012).

15 Middleton, J. (2010), 'Sense and the City: exploring the embodied geographies of urban walking', *Social and Cultural Geography*, volume 11 (6), pp. 575–596.

住民のためのウォーキングツーリズムの開発

セクション 1.2 で述べたように、ウォーキングツーリズムは、住民の健康と福祉にも有益となる。そのため、必要に応じて、地域の保健福祉政策と組み合わせて開発することができる。ウォーキングへの住民参加の増加は、住民と観光客との交流機会の増加、観光客の満足度向上、ひいては双方にとってより快適な環境の創出につながります。日本の上山市クアオルト事業（研究事例 7.9）は、観光と住民の健康増進を組み合わせたプロジェクトである。

また、ウォーキングツーリズムは、地域の住民が自分たちの地域の自然や文化を学んだり、保全に向けた取組に参加するための手段にもなる。ウォーキングルートの管理者は、住民が地域の価値を再発見したり、保全の重要性を理解したりできるように、住民を対象としたセミナーやワークショップ、イベント等を開催することが重要である。レバノン・マウンテン・トレイル（研究事例 7.2）及び韓国の済州オルレ（研究事例 7.3）では、住民への学習の機会と協力を促進するプログラムが提供されている。

Copyright © 2021, 国連世界観光機関 (UNWTO)
写真提供 表紙の写真: © Dimarik16 | Dreamstime.com

ウォーキングツーリズム - 地域発展の促進、要旨

ISBN 日本語 (印刷版): 978-92-844-2254-8
ISBN 日本語 (電子版): 978-92-844-2255-5
DOI: 10.18111/9789284422555

国連世界観光機関 (UNWTO)
初版: 2021 年
All rights reserved. | Printed in Nara, Japan.

日本語版の作成は、UNWTO 駐日事務所が行いました。
UNWTO 駐日事務所 (本部・奈良)
UNWTO 駐日事務所 東京事務所
Website: <https://unwto-ap.org/>

英語 (原文) 名称: Walking Tourism – Promoting Regional Development, Executive Summary
ISBN 英語 (印刷版): 978-92-844-2051-3
ISBN 英語 (印刷版): 978-92-844-2052-0
DOI: 10.18111/9789284420520

国連世界観光機関 (UNWTO) Calle del Poeta Joan Maragall, 42 28020 Madrid Spain	電話: (+34) 915 67 81 00 ファックス: (+34) 915 71 37 33 ウェブサイト: www.unwto.org E メール: info@unwto.org
--	--

本書で使用されている表現や資料は、いかなる国、領土、都市、地域の法的地位や当局の見解に関して、国連世界観光機関 (UNWTO) が、また、その争いの確定に関する意見を表明することを意味するものではありません。

出典: World Tourism Organization (2021), *Walking Tourism – Promoting Regional Development, Executive Summary*, Japanese version, UNWTO, Madrid, DOI: <https://doi.org/10.18111/9789284422555>.

すべての UNWTO の出版物は、著作権によって保護されています。したがって、特に断りのない限り、書面による事前の許可なしに、UNWTO の出版物のいかなる部分も、コピー、マイクロフィルム、スキャンを含む電子的又は機械的ないかなる方法を問わず、複製、検索閲覧システムへの登録、利用することを禁じます。UNWTO は、UNWTO の出版物の普及を奨励しており、これに関連する許可、認可、出版物の翻訳については相談により検討可能です。

スペイン国内での UNWTO の資料の複製の承認に関しては、以下に問い合わせ許可を得てください。

CEDRO, Centro Español de Derechos Reprográficos Calle Alcalá, 26, 3º 28014 Madrid Spain	電話: (+34) 913 08 63 30 ファックス: (+34) 913 08 63 27 ウェブサイト: www.cedro.org E メール: cedro@cedro.org
--	--

スペイン国外での作品の複製の承認に関しては、二国間の合意のある CEDRO の提携組織のいずれかにご連絡ください。
(参照: www.cedro.org/english?lng=en)

スペイン国外及びその他の許可、要望に関しては、直接 UNWTO 本部にご連絡ください。
申請書はこちら: www.unwto.org/unwto-publications

ウォーキングツーリズムは、地域を体験する手段として、現在非常に高い人気を得ている。ウォーキングツーリズムによって、観光客はその地域の人々や自然、文化とより良い形で関われるようになる。また、旅行中を含めた、旅行者による野外活動への全般的な需要の高まりにも合致している。ウォーキングツーリズムは比較的少ない投資で、持続可能なツーリズムとしてどこでも開発することができる。適切に開発・管理すれば、住民やコミュニティに社会的・経済的恩恵をもたらすことができる。本レポートは、様々なウォーキングツーリズムの成功事例を紹介し、地域発展におけるウォーキングツーリズムの役割に重点をおいた地域の実践的な事例を示すことを目的としている。

国連世界観光機関(UNWTO)は国連の専門機関であり、誰もが参加できる持続可能な責任ある観光の促進に重要かつ中心的な役割を担う国際機関です。観光政策における国際的な課題についての交流の場として、また、観光に関する実践的な専門知識を提供する機関としての役割を果たしています。UNWTOは、159か国、6地域、2永久オブザーバー及び500を超える賛助加盟員で構成されています。



World Tourism Organization (UNWTO) www.unwto.org



9 789284 422548